

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>美幌生活体験ツアー</p>
<p>事業目的</p>	<p>雇用促進・・・企業体験を通じて都市部からの雇用を促す</p> <p>経済促進・・・若者世代に美幌町の文化や新しい事 店舗施設等を知ってもらう</p> <p>移住定住・関係人口増・・・就労による若者人口の増加・多拠点人口・ ワーケーション促進</p>
<p>実施内容 場所 周知方法 (具体的に)</p>	<p><b>【実施内容】</b></p> <p>美幌生活体験ツアー (美幌町の「暮らし」を感じるインターンシップ)</p> <p>美幌町に興味を示してくれている札幌大学の学生に、5泊6日で美幌町の中小企業へ職業体験をしてもらいながら、滞在中に美幌町の様々な体験を通じ、美幌町への就労・定住人口増・関係人口増・観光促進を促す。</p> <p>実施期間：令和4年8月17日～8月22日</p> <p>応募人数：5名</p> <p>参加人数：4名</p> <p>学生の宿泊場所：グリーンビレッジ</p> <p>来町移動方法：都市間バスを利用</p> <p>町内移動方法：ジャンボタクシー</p> <p>受入企業：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、宮田建設(株)</li> <li>2、(株)三共後藤建設</li> <li>3、JAびほろ</li> <li>4、NPO法人マイ・スペース</li> <li>5、(株)田村精肉店</li> <li>6、(株)オート・キープス</li> <li>7、(有)北光興産</li> <li>8、クレードル食品(株)</li> </ol> <p>スケジュールは別紙参照(資料1)</p> <p>・1日目 8月17日</p> <p>札幌からバスで来町</p> <p>委員でお迎えし、送迎後美幌博物館において体験プログラム</p> <p>宿泊場所チェックイン</p> <p>美幌商工会議所にてオリエンテーション</p>

→出席者：美幌商工会議所会頭、専務、企業8社各1名計8名、参加学生4名、大学関係者1名、委員会10名

オリエンテーション終了後交流会

・2日目 8月18日

企業体験1日目

学生A 宮田建設(株)

学生B (株)オート・キープス

学生C (株)三共後藤建設

学生D クレードル食品(株)

・3日目 8月19日

企業体験2日目

学生A JAびほろ

学生B NPO法人マイ・スペース

学生C (有)北光興産

学生D 田村精肉店

・4日目 8月20日

美幌町の魅力を体験するツアー

企画運営：ピーカン企画、観光と自転車と

午前：文化体験 森と自然を感じるワークショップ

(株)新宮商工 研修所においてワークショップを実施

昼食：美幌峠 道の駅

午後：美幌に住むことで満喫できる道東ライフおよび美幌町との比較

美幌周辺のまち散歩、SUP体験(和琴半島周辺、屈斜路湖)

夕食：美幌に住むことで満喫できる豊かな食

SHINO'sキッチン

5日目 8月21日

町内イベント体験 BIHORBASE

準備、運営を通じて多くの町民と触れ合う機会を創出

夕方、食事をしながらの意見交換会

参加者：企業体験関係者5名、学生4名、委員10名、委員関係者1名

6日目 8月22日  
午前中町内体験プログラム  
企画運営：ピーカン企画  
温水ため池にてバードウォッチング  
新宮商工研修所においてテントサウナ体験並びに昼食（点香苑豚まん）  
峠の湯

バスで帰札 委員お見送り  
美幌生活体験ツアー事業終了

※実施期間中は札幌大学の学長をはじめ関係者が来町し、視察・交流が行われた。

**【実施後の動き】**

令和4年10月14日

大学側主催 大学主催 学長との懇談会並びに報告会  
報告会は、実地+オンラインのハイブリットで開催され  
委員含め、受け入れ企業も参加した。

**【周知方法】**

- ・札幌大学にポスターを掲示、配布（ポスター別紙参照 資料2）
- ・大学側オンライン共有ツール

資料一覧

- 1、スケジュール（5泊6日の日程）
- 2、掲示用募集チラシ
- 3、事業後学生アンケート
- 4、大学側の広報
- 5、大学主催 学長との懇談会並びに報告会

事業実施  
による効果

美幌町の8社の企業を2日間かけて4名の大学生が体験。

町外の大学（学生）と美幌町並びに町内企業を結ぶことが出来た  
⇒美幌町への雇用促進、関係人口増、移住定住のきっかけに。

美幌町と札幌大学との連携、支援を確立  
⇒今後、本事業を含めた多角的な面での協力を得られる。

参加学生による他の在学学生への本事業や美幌町の周知活動  
⇒大学側主催の報告会実施による本事業や同町の周知を増進。  
次年度参加者増にも期待。

学生側体験アンケート結果…別紙資料参照 資料3

大学側広報活動…資料4、5

総事業費	480 千円（うち補助対象経費 353 千円）
次年度以降の活動予定	美幌生活体験ツアーの継続

◎添付資料

- カラー写真（事業の実施風景もしくは整備した全ての備品・設備の内容、当該補助金の支援事業である旨の表示が鮮明・明瞭に確認できるもの）
  - 印刷物・作成物（当該補助金の支援事業である旨の表示を行ったポスター、チラシ等）
- ※作成している場合のみ提出



美幌博物館にてキャンドルホルダー作り



オリエンテーション



美幌町生活体験ツアー  
美幌町「暮らし」を感じるインターンシップ  
2022年8月17日（水）



グリーンビレッジ美幌を拠点に5泊6日



(株) オートキープス



宮田建設 (株)



(株) 三共後藤建設



クレードル食品 (株)



美幌町生活体験ツアー  
美幌町「暮らし」を感じるインターンシップ  
2022年8月18日 (木)



JAびほろ



NPO法人マイ・スペース



(株) 田村精肉店



(有) 北光興産



札幌大学大森学長も来町・視察

美幌町生活体験ツアー  
美幌町「暮らし」を感じるインターンシップ  
2022年8月19日（金）

## 美幌町の魅力体験ツアー



美幌町生活体験ツアー  
美幌町「暮らし」を感じるインターンシップ  
2022年8月20日（土）





BIHORBASE体験



BBQ意見交換会

美幌町生活体験ツアー  
美幌町「暮らし」を感じるインターンシップ  
2022年8月21日（日）



バードウォッチング



北海道新聞

## 美幌暮らしのかが 若者に照準

職業体験で測量機器の使い方を教わるインターン生の吉田賢貴さん（左から2人目）

**札大生招きインターンシップ**

【美幌】産の担い手がなかなか集まらない美幌町は、都市部の若者層を向けてもらおうと、町民有志でつくる美幌町活性化プロジェクト委員会（委員長 田中幸祐氏）は、8月17日の日曜、札大の大学生を招いた「美幌町の暮らしを感じるインターンシップ」を初めて行った。札幌の4人が町内に滞在し、さまざまな職業体験し、美幌の暮らしを満喫した。（青山行）

町内は大半を高齢世代が占め、働き手の確保が急務となっている。15、64歳の生産年齢人口が減少する。危機感を募らせた有志が実行委員会を結成し、今回のインターンシップを企画した。実行委員メンバーで町議会議長の木村昭さん34が札大生を呼び、同大の協力を得た。学生の滞在費を含む事業費は50万円で、実行委が負担した。美幌町農協や建設会社、食品加工会社、自動車整備工場など9事業所が受け入れた。美幌を訪れたのは、法専攻の3年生3人と4年生1人。初日の17日、オリエンテーションが美幌町会議所で行われ、後援担当は、コロナ禍でリモートワークが増えるなど、昨今の働き環境が大きく変わった。視野が広がるよう、美幌の体験を生かしてもらえれば」と期待された。

18、19日は職業体験。学生は白地に1事業所ずつ、町之事務所を回った。このうち田中建設を訪れた4年の吉田賢貴さん22は、町議の親戚で、現場を視察。建設現場で働くのが好きで、緑石のコンクリートについて説明を受けたり、測量機器の使い方を知りたかった。田中建設は、何かを覚えていた。測量機は、測量機を測ると知ることができ、技術の力はずっとあった」と話をつづらせた。

20、21日町内をフィールド体験する。美幌町観光インフォメーションセンター（バーベキュー）を訪れた。この職業体験が、ひいては美幌への移住を促すきっかけになる。美幌町の活性化に貢献を期待している。



テントサウナ

美幌町生活体験ツアー  
美幌町「暮らし」を感じるインターンシップ  
2022年8月22日（月）